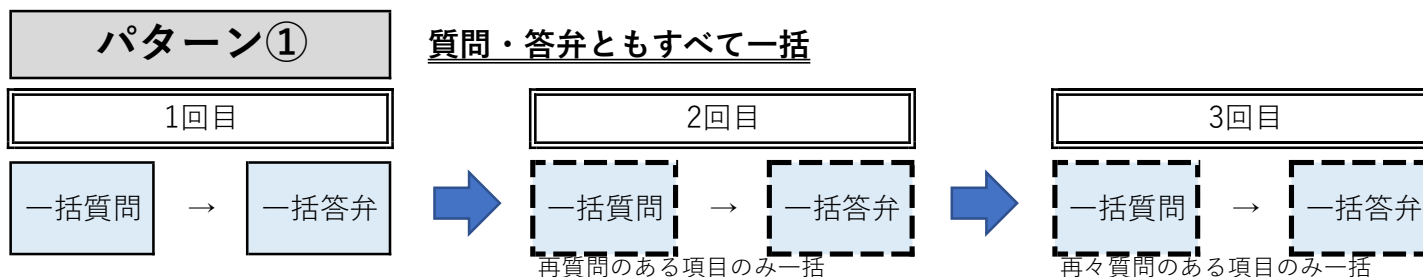


代表質問における道内他都市の事例

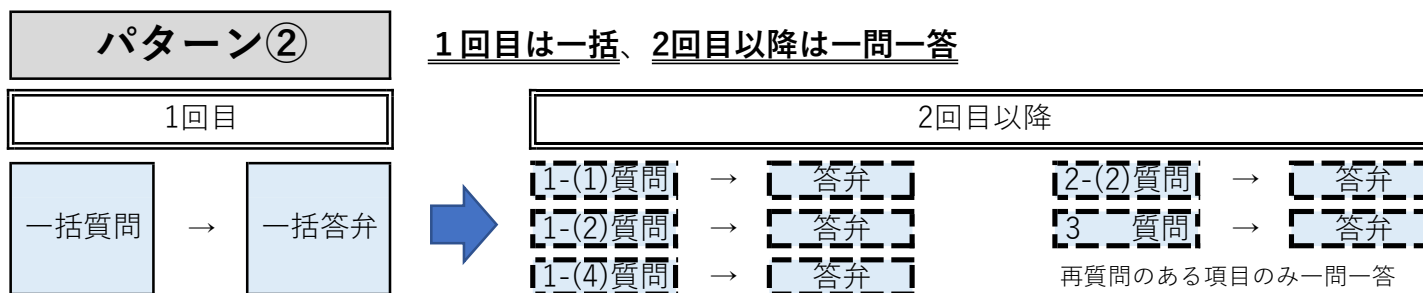
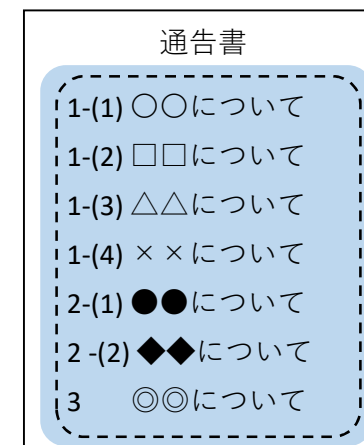


※答弁は市長と教育長のみの市が大半のため、概ね通告の順番通りとなっている場合が多い。

※再質問なしの市もあり

【主な実施市】

苫小牧・札幌・旭川・釧路・帯広・室蘭・北見・岩見沢・千歳・網走・美唄

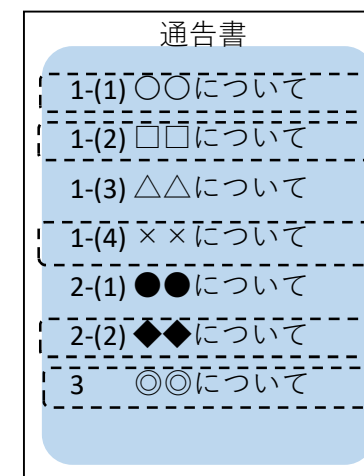


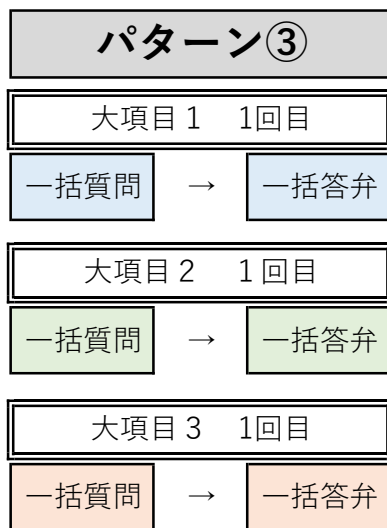
※1回目の答弁は市長と教育長のみの市が大半のため、概ね通告の順番通りとなっている場合が多い。

※2回目以降は、部長が答弁するケースもある。2回目以降は一問一答のため順番通り。

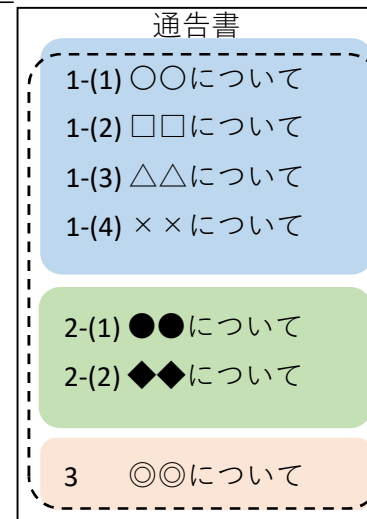
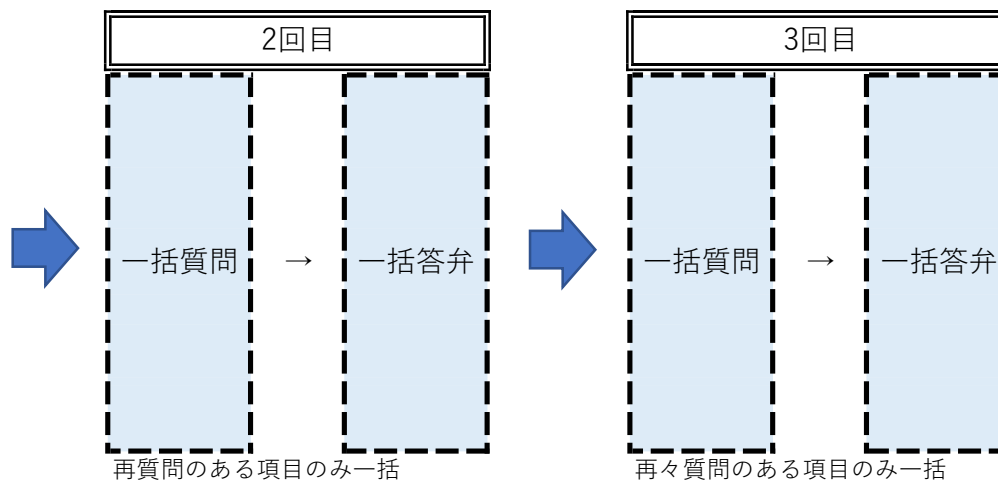
【主な実施市】

函館・稚内・根室・北広島・滝川・名寄





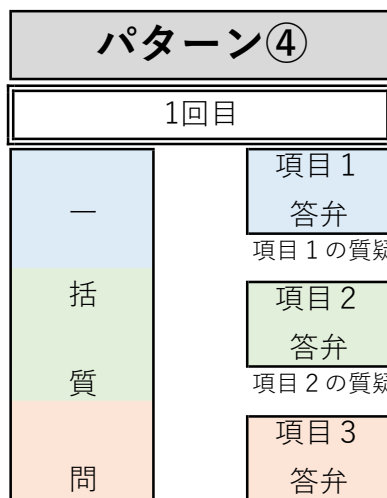
1回目のみ大項目ごとに質問・答弁を終わらせる。2回目以降は全体通して 一括



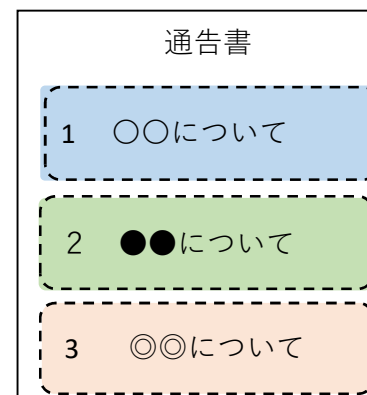
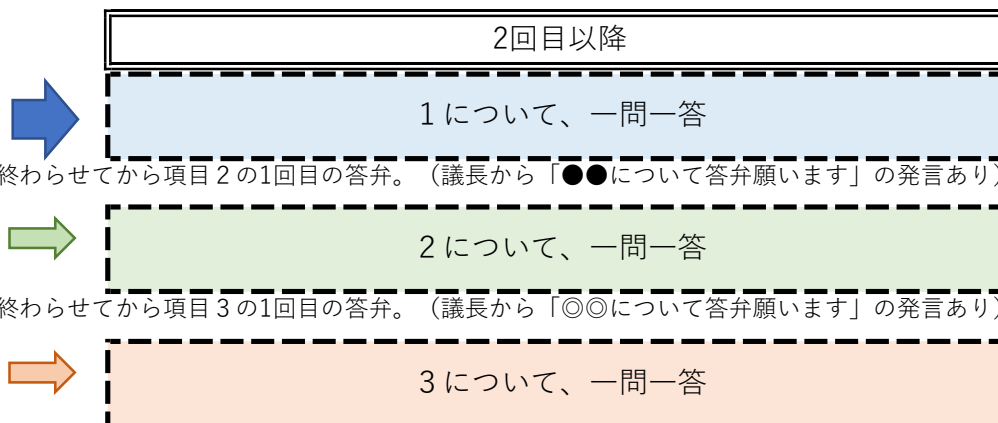
※1回目の答弁は市長と教育長。大項目ごとに答弁するので登壇が複数回になる。

※2回目以降は部長も答弁しているため順不同になる。

【実施市】 小樽



1 回目の質問は一括、1回目の答弁は項目ごとで、そのまま再質疑を一問一答で行う。



※答弁者は部長・次長で市長は答弁していない。

【実施市】 三笠

※通告書が項目のみの形式をとっている。